

「非線型非平衡状態の統計力学」

昨年12月につづいてこの研究計画での第2回目の研究会が6月27日～29日に基研で開かれた。

今回は動的臨界現象と Dissipative Structure のテーマで参加者を公募したが、前回に劣らず予想以上に多数の方々からの申し込みがあった。今回は討論の時間を十分とる事に一つのポイントを置いたので、今回のテーマに照らしてかなりの方に講演を遠慮していただかざるを得なかったが、それは申し込まれたテーマの内容が劣っている事を意味するものでは決してないので呉々も御了承戴きたいと思う。

おかげでかなり活発な討論ができた事を世話人として満足して居ます。

(文 責 川 崎)